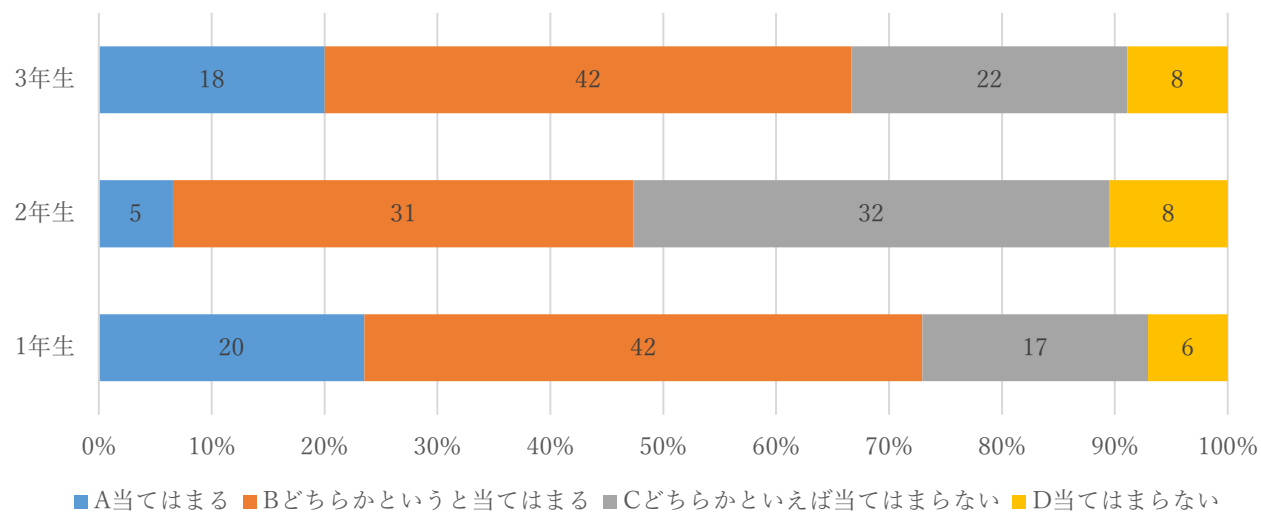
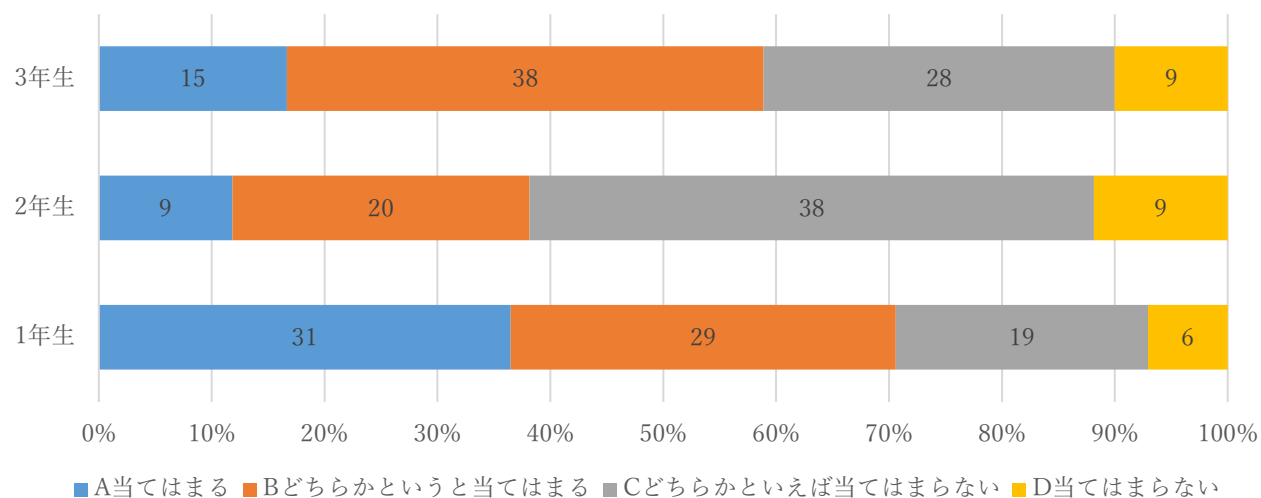


(1) 英語の授業を楽しみにしていますか？



- ・ 3年生：「楽しみにしている・どちらかといえば楽しみにしている」と肯定的に回答した生徒の割合が約67%に対して、約33%の生徒は否定的に捉えている。
【前回：肯定的（71%） 否定的（29%）】
- ・ 2年生：肯定的に捉える生徒が5割程度と振るわない。
- ・ 1年生：「楽しみにしている・どちらかといえば楽しみにしている」と回答した生徒の割合が72%で、前回の74%とほぼ変わらない結果となった。

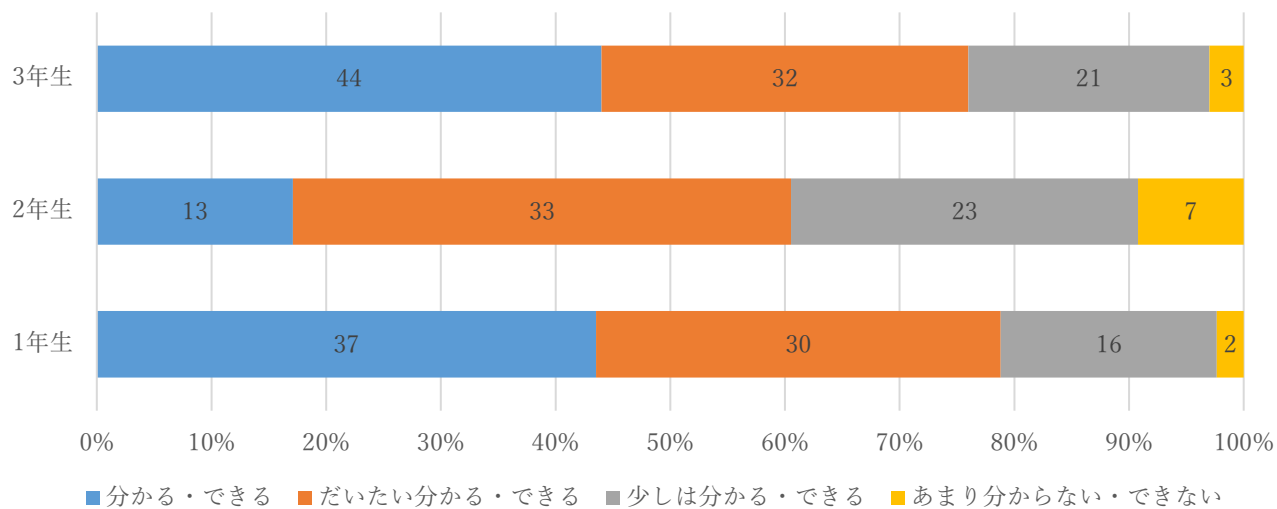
(2) 授業で進んで英語を話していますか？



- ・ 3年生：前向きに回答している生徒は約半数で、前回の調査とほぼ割合が変わらない。一方、37%が後ろ向きに回答しており、前回より約3%下がった。
- ・ 2年生：進んで英語を話すと答える生徒は約4割程度である。
- ・ 1年生：「当てはまる・どちらかという当てはまる」と回答した生徒の割合が、70%で、前回より3%上がった。

(3) ①内容はどのくらい分かりますか？（できますか）

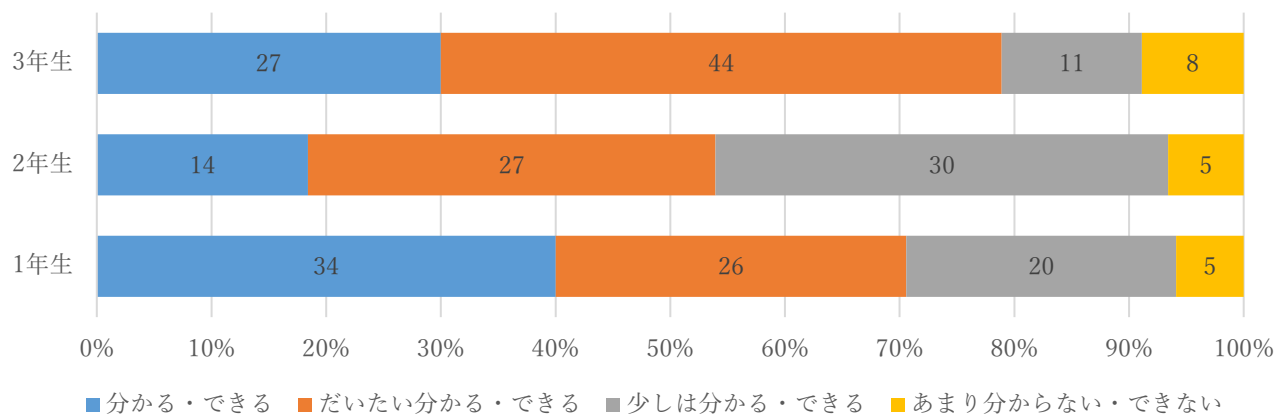
【聞くこと】



- ・ 3年生：約84%の生徒が「できる・だいたいできる」と回答した。
- ・ 2年生：前回（7月）とほぼ変わらない。
- ・ 1年生：約79%の生徒が「わかる・だいたいわかる」と回答し、前回より19%上がった。

(3) ②内容はどのくらい分かりますか？（できますか）

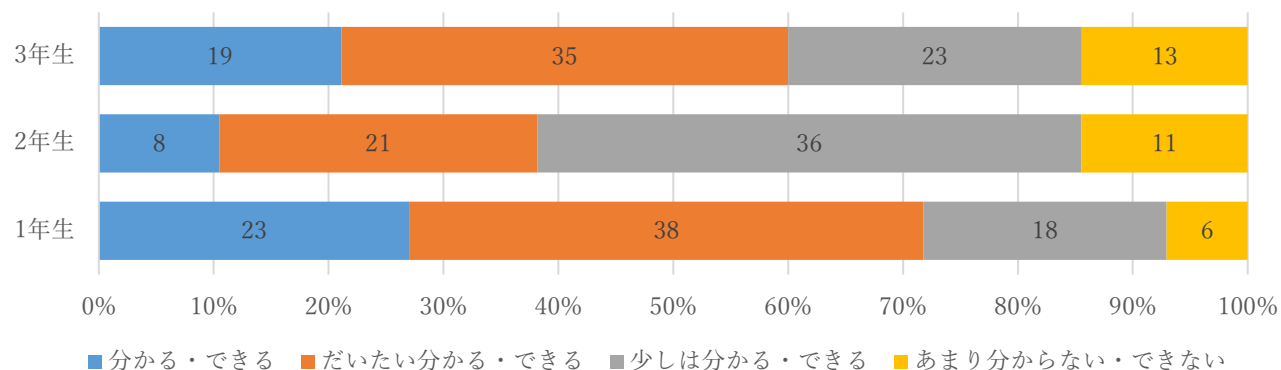
【読むこと】



- ・ 3年生：約20%の生徒が「少しはできる・あまりできない」と回答し、前回の回答から約8%下がった。
- ・ 2年生：前回（7月）とほぼ変わらない。
- ・ 1年生：60%の生徒が「わかる・だいたいわかる」と回答し、前回の回答から約6%上がった。

(3) ③内容はどのくらい分かりますか？（できますか）

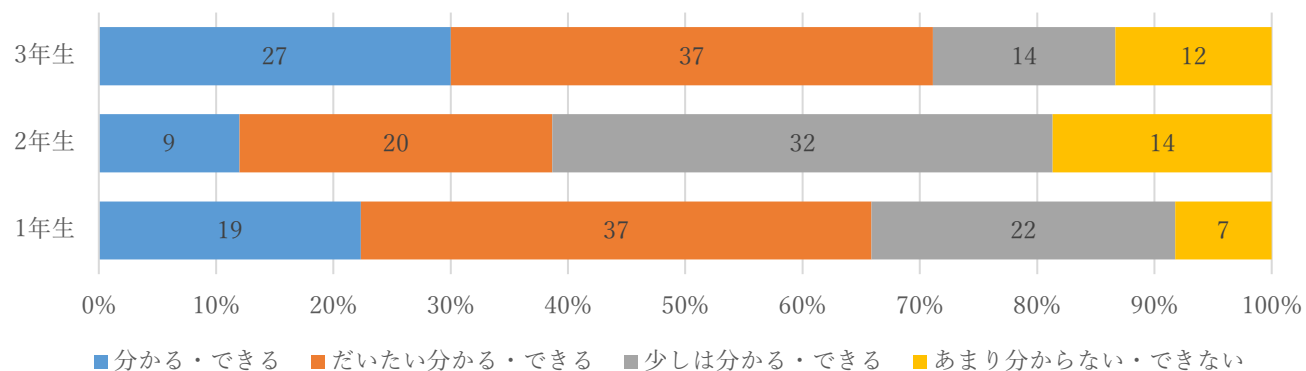
【話すこと】



- ・ 3年生：【話すこと：やりとり】について、「できる・だいたいできる」の回答が約60%と前回の回答と変化はない。
- ・ 2年生：あまり分からないと答える数が僅かながら減少、少しは分かるが伸びてきている。
- ・ 1年生：71%の生徒が「できる・だいたいできる」と回答し、前回より20%上がった。

(3) ④内容はどのくらい分かりますか？（できますか）

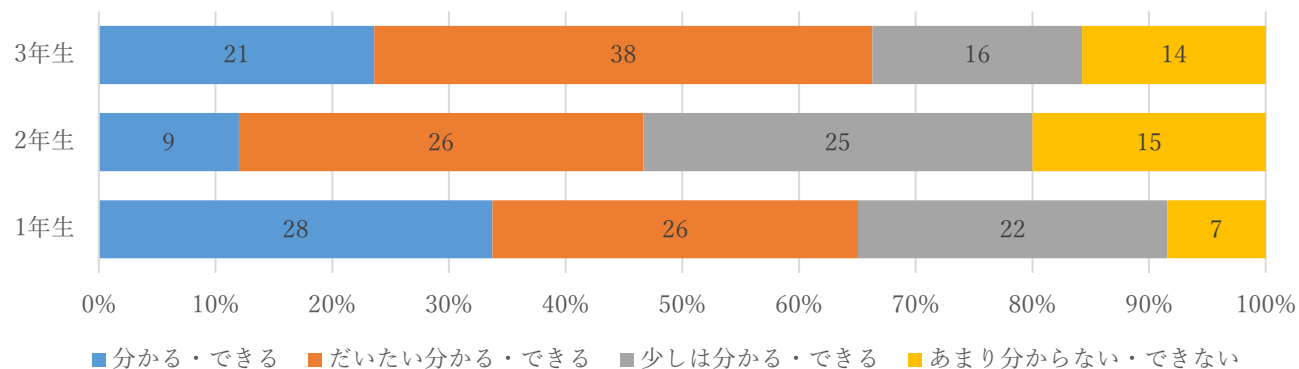
【発表】



- ・ 3年生：【話すこと：発表】について、「できる・だいたいできる」の回答が約70%であり、前回より約25%上がった。
- ・ 2年生：あまり分からないと答える数が僅かながら減少、少しは分かるが伸びてきている。
- ・ 1年生：65%の生徒が「わかる・だいたいわかる」回答し、前回より約11%上がった。

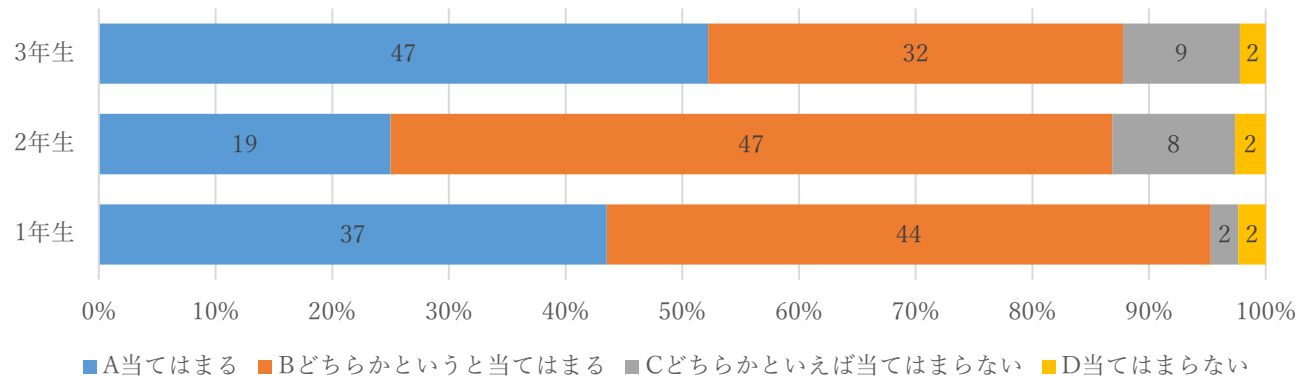
(3) ⑤内容はどのくらい分かりますか？（できますか）

【書くこと】



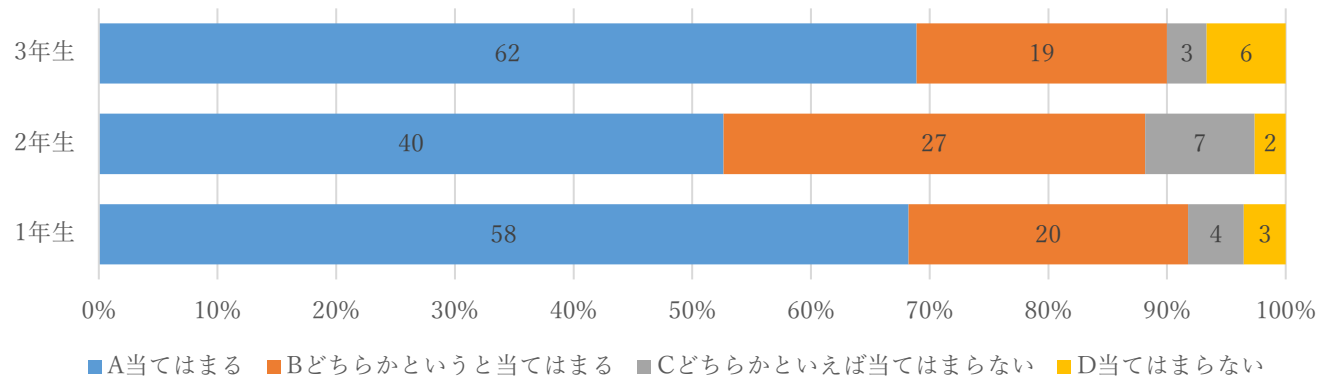
- ・3年生:約30%の生徒が苦手意識をもっている。
- ・2年生:約20%の生徒があまり分からないと回答している。
- ・1年生:約64%の生徒が「わかる・だいたいわかる」と回答し、前回より18%上がった。

(4) 授業を通して、外国の文化や生活の様子を知ることができましたか？



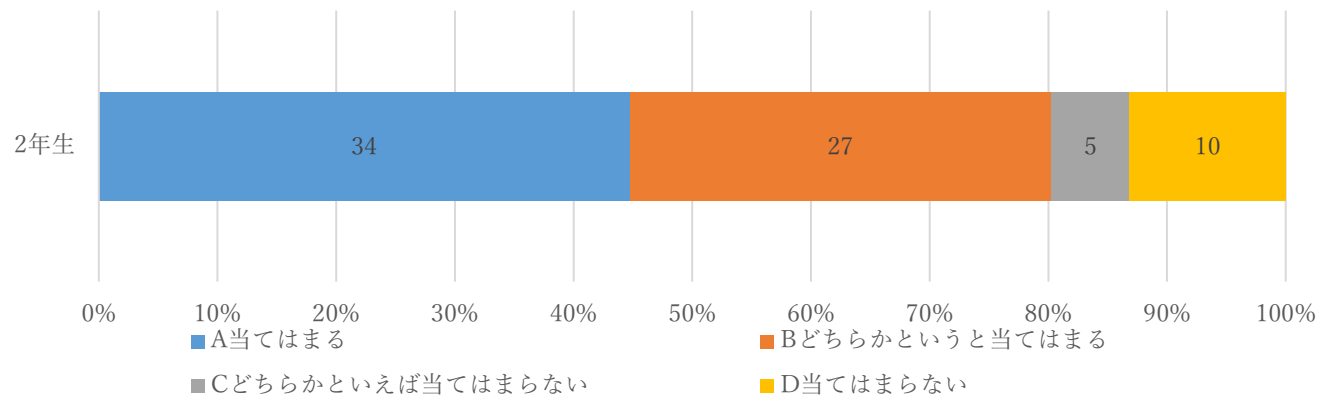
- ・3年生:約半数が「できた」と回答している。
- ・2年生:前回(7月)と比べて78%から85%に伸びている。
- ・1年生:95%の生徒が「当てはまる・どちらかという当てはまる」と答え、前回より3%上がった。

(5) 授業で学んだことは将来に役立つ
と思いますか？



• どの学年も、約90%近くの生徒が、英語学習を前向きに捉え、実生活に役に立つと考えていることがわかる

(6) 外国とのオンライン交流会を今後も続けていきたいですか？（実施学年のみ）



• 2年生：事前事後の気持ちの変化が反映され、多くの生徒が交流を楽しんだことが伺える。オンラインとは言え直接言葉を交わす体験は生徒たちにとって大きな刺激になったようである。

【今年度の成果】

3年生：設問3-①の結果から、聞く活動の前に「何を聞き取るのか」や「どのようなキーワードをヒントに聞き取るのか」等を示したことが、生徒の肯定的な回答の高さにつながったと考えられる。また、設問4の結果から、教材に関連したものや季節に応じて外国の文化や生活の様子とALTと紹介し、理解につなげたことが、高い回答の結果につながったと考えられる。

2年生：設問4及び5の数値の向上は国際交流が大きな理由と考える。交流当日までの活動も良好で、生徒たちの意欲や外国の生活に対する興味関心を引き出す良い経験になった事業であった。

1年生：ほとんどの設問で、前回より割合が上がり、より意欲的に英語の学習に取り組んでいることが分かった。また、英語の4技能について質問した設問3では、どの項目も割合が上がり、特に「聞くこと」と「話すこと（やり取り）」の設問が20%上がった。1年生の授業で強化して取り組んでいる活動に慣れ親しみ、できる自信となっていることが分かった。設問4の結果はとても高く、教科書の内容から異文化について紹介する場面が多く、ALTや英語教員の外国についての話なども興味をもって聞いている様子からも見て取れる。今後も異文化について面白さを話し、彼らの興味関心を刺激し、今後も英語学習への意欲を高めていきたい。

【今年度の課題】

3年生：中学校3年生の教材は、情報量が多いことに加え、これまで身近な話題（内容）だったことから社会的な話題（内容）が多くなったことが、設問3の回答に影響したと考えられる。また、設問3-③では、伝えたい内容をしっかりもって発表することに抵抗感はないものの、即興的な活動では伝えたいことをどのように表現したらよいか分からないために、苦手意識をもつ生徒が増えたと考えられる。

2年生：設問1及び2の結果から、学習への興味・関心を持たせるための教材研究が十分でなかった。中間層のつまづきを把握し、指導に生かすことや苦手意識を持つ生徒への支援はもちろん、上位層をさらに伸ばす指導し指導が必要であると考ええる。

1年生：強化している活動は数値が上がっているが、時間を十分に設定していない活動は、できる割合もそれほど高くない。今後、強化したい活動としては、「話すこと：発表」（65%できる）と「読むこと」（60%できる）であり、来年度にきちんと時間を設定し、話し方と読み方を教え、自信を付けさせる必要がある。

【次年度の重点事項】

3年生：教材の情報量が一気に増え、社会的な話題が多くなる。教材研究を通して、生徒に興味・関心をもたせる工夫が必要である。また、基本文や本文の内容をもとに、自分の立場で表現させる取組を継続的に行うことで、特に、話すことや書くことへの自信につなげていく。

2年生：まだ十分に基礎の確立が出来ていない生徒たちへの支援が不可欠である。一人一人の特性を的確に見極め、学習を支える必要がある。教材研究を通して、生徒の知的好奇心を高め、学習意欲へとつなげたい。

1年生：「話すこと：発表」の分野で、1年生で習った表現も混ぜ、テーマに沿って5文以上の文を書かせ、十分個人練習を行い、クラスの前で発表する時間を設定したい。また、2年の後半には、プレゼンを扱う場面があるので、スライド等も英語で作成させ、伝えたいことが伝わる、相互に学びのある発表会を設けていきたい。また、「読むこと」の分野で、教科書のストーリーも長くなるので、それを利用し、多くの読み方を教えていきたい。読解問題の解き方もより詳しく教え、読む力を強化していく。また、社会的な話題も入ってくるので、それについても自分の意見も問い、自分事として興味を持って読めるよう工夫をしていきたい。